

2018.2.4 (32th日生WS)

地域ぐるみ環境ISO研究会

事務局としての考察

機展開の普及・機展開の発展
好循環の形成SDGsとの関係

小林敏昭
kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp

地域ぐるみ環境ISO研究会

活動理念 地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。

【1997年11月】
エコタウン事業を契機に6社で発足

【2000年1月】
6社全てがISO 14001を認証登録

【2018年2月現在】
飯田・下伊那の多様な28事業所 (従業員およそ7,000人余)が参加

旭松食品
オムロン飯田
多摩川精機
三菱電機
平和時計製作所
飯田市役所

名称を現在の「地域ぐるみ環境ISO研究会」に変更。
「地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。」を活動理念とし、「点(事業所)」から「面(地域)」への「ぐるみ運動」を展開する。

旭松食品・オムロン・三菱電機・多摩川製作所・飯田工場・システム設計・コパチカガ・飯田市役所
中部電力興長野支店・飯田営業所・飯田信用金庫
TDK庄内飯田工場・南八十二銀行飯田支店
井坪設備工業・興光・エコトピア飯田
興アース・グリーン・マツ・興和産業・化成工業
吉川建設・木下建設・興原鉄・神福建設
南信共同アスコン・飯田商工会議所
興トーエネック飯田営業所・夏目光学
興アイバックス・イワタニ長野飯田支店
おひさま進歩エネルギー

ISO14001認証登録を目標に活動開始。

「南信州いびす21」地域環境ISOの構築・審査・取組事業所の支援(初級・中級・上級・ISO14001南信州宣言)
・環境一斉行動週間(ノーマーカー・ライトダウン・節電・ノーマスク等)についてなど
・事業所見学会
・「ぐるみ通信」(メールマガジン)の発行
・ISO14001内部監査の実施
・環境セミナーの開催等

＜主な活動内容＞

1. ISO14001を認証取得し、維持するための技術及び知識を共有し、支援すること。
2. 事業所内の環境改善活動を通じて従業員・職員意識を市民意識までに高めること。
3. 飯田版ISOを構築し、小規模・個人事業所へ環境改善のノウハウを提供し、支援すること。
4. 飯田市の展開する環境行政を支援すること。

発展
1~4に加え、以下の内容を実施

研究会 参加事業所

97.11発足時から

旭松食品 認証取得 99.12	飯田信用金庫 認証取得 00.11	吉川建設 認証取得 01.05
オムロン飯田 認証取得 98.10	エコトピア飯田 認証取得 01.04	木下建設 認証取得 01.04
多摩川精機 認証取得 98.10	興アース・グリーン・マツ 認証取得 97.11	興原鉄 認証取得 02.05
三興電機 認証取得 98.09	興和産業 認証取得 01.07	神福建設 認証取得 02.05
平和時計 認証取得 98.10	化成工業 認証取得 01.05	南信共同アスコン 認証取得 00.06
飯田市役所 認証取得 00.01		飯田商工会議所 認証取得 03.06
		興トーエネック飯田営業所 認証取得 02.11
		夏目光学 認証取得 02.03
		興マエダ 認証取得 04.07
		興アイバックス 認証取得 01.12
		イワタニ長野 認証取得 01.12
		おひさま進歩エネルギー 認証取得 01.12

28事業所
うちISO取得済
27事業所
従業員
7,000人余

地域ぐるみ環境ISO研究会

研究会の特徴

1 ぐるみ運動

事業所内の「点」から家庭・地域の「面」への活動の裾野を広げるその枠を超えた「ぐるみ運動」

2 民間主導

1996年4月に民間3社での改善研究会をもとに97年11月民間5社+市役所で発足
「地域ぐるみでISOへ挑戦しよう研究会」

3 ボランティア

◆【活動理念】
地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。
◆【活動内容】…支援すること。

地域ぐるみ環境ISO研究会

研究会による「環境力」UP

環境モデル都市
2009年最初の13都市で選定

環境文化都市宣言(市議会)
2007.3 制定・施行

補助交付金

交流

環境と経済の好循環のまちモデル事業
2006年最初の9都市で選定

研究会

エコタウン
1997年最初の4承認地域

再生可能エネルギー
太陽光発電・小水力
2013.4 再生エネルギー

「明日の環境首都」
2011.6 全国のNGOによる「日本の環境首都コンテスト」

2001.10→地域版EMS「南信州いびす21」選定
2003.1 全国自治体初ISO 14001自己適合宣言

地域ぐるみ環境ISO研究会

地域の潜在能力「環境力」を高める

「ぐるみ運動」の展開により地域全体の環境力がレベルアップする。結果として環境意識の高い街として全国にアピールすることができれば、人やモノをこの谷に呼び、地域の活性化にもつながる。

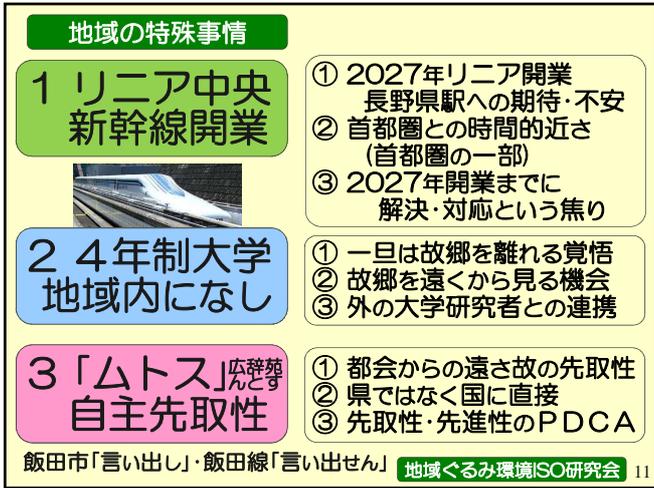
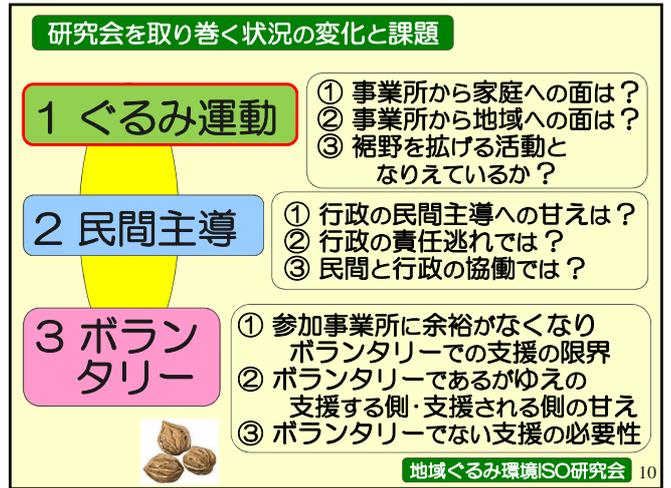
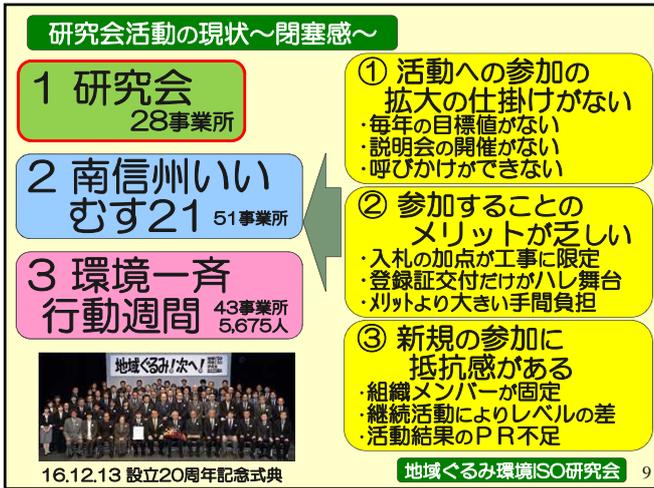
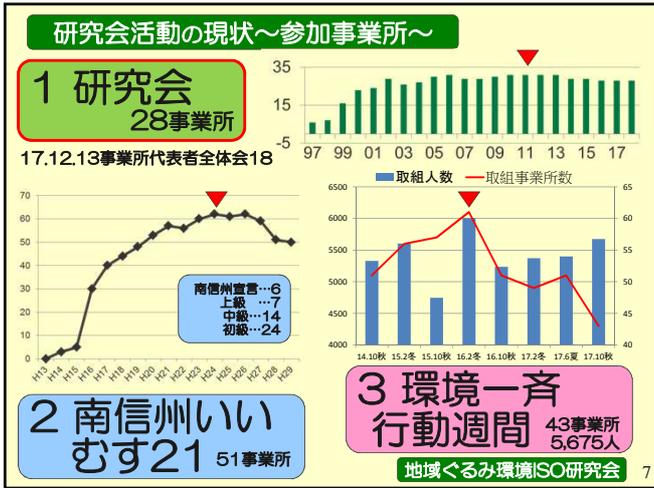
新しい地域連携モデル、水平分業、垂直分業の新しい関係の構築

地域への忠誠心を持った起業家、企業家を育てる

人材
資金
技術
還流

物づくりの伝統に生産技術の革新運動を仕掛ける

地域ぐるみ環境ISO研究会



研究会活動に重要なもの

1 事務局機能の強化

- ① 研究会内部の連絡・調整
- ② 地域内への仕掛け
- ③ 外部との連絡・調整

2 行政の支援・関与

- ① 事務局員の人員配置
- ② 会議室などの施設利用
- ③ HPなどの情報管理

3 楽しむ情報・交流

- ① 情報共有・交換・発信
- ② メンバー間の交流
- ③ 「外の風」との交流・刺激

地域ぐるみ環境ISO研究会 13

「南信州いいむす21」のシステム・運用の見直し

1 システム改訂

- ① ISO 14001改訂への対応
- ② 規格独自・専門用語を避ける
- ③ 取組側・支援側の双方を考慮

2 取組側の見直し

- ① 取組事業所の規模を考慮
10人以下:9, 20人以下:15, 50人以下:11, 100人以下:6, 100人超:4 宣言以外の計45
- ② わかりやすい解説・説明書
- ③ システム変更の説明会

3 支援側の見直し

- ① 審査の負荷の軽減
- ② 規格と審査基準の明確化
- ③ 審査員の力量確保・標準化

地域ぐるみ環境ISO研究会 14

SDGsは

1 まだまだPR不足理解不足



13 気候変動に具体的な対策を

2 範囲が広い担当明確に



3 行政の支援関与不可欠

- ① まずは理解・研修の設定
- ② 優先課題・担当課題の整理
- ③ 業務における目標の設定

地域ぐるみ環境ISO研究会 15

研究会のホームページ・「ぐるみ通信」

<https://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujouhou/isokenkyuukai.html>









街中の「飯田りんご並木」

地域ぐるみ環境ISO研究会 16